

腹腔鏡下ヘルニア根治術に必要な手技および解剖知識の習得

解剖実習セミナーを開催します。

参加希望者は下記申込先(メール)までご連絡ください。

日時 令和2年1月16日(土曜日) 10時～15時実習

場所 岡山大学鹿田キャンパス 解剖実習室

担当講師：近藤喜太(岡山大学消化器外科 助教)

担当講師：矢野修也(岡山大学卒後臨床研修センター 助教)

対象：TAPPの手技習得を目指す若手外科医(研修医含む)

参加費：1体を2名で実習する場合 1名あたり4万5千円

1体を3名で実習する場合 1名あたり3万円

募集人数：最大4名 見学：5千円(若干名)

実習内容

実習 10:00～12:00 講義+腹腔鏡下ヘルニア手術の執刀
13:00～15:00 前方アプローチによる振り返り

通常ホルマリン固定ではなく、シール(Thiel)法によって固定されたご献体での実習となります。シール法では、組織が柔らかく固定されているため、実際の手術とほとんど違和感のない感触で手術の執刀を実習することができます。

実習中適宜、3D解剖教材を参照し、骨盤領域の解剖理解を深めることができます。

なお、COVID-19の感染拡大の状況により、セミナー自体を中止する可能性があります。また、参加者には岡山大学病因が定める所定の記録用紙(確認用行動歴記録用紙(事前・事後)、問診票、体調チェックシート)を提出していただき、トリアージにかかる場合には参加を見送っていただく可能性があります。

申込先

岡山大学病院消化器外科学 TEL: 086-235-7257

mail: tarkun1@gmail.com (担当: 近藤) 申込締切: 令和2年12月31日(木)

協賛

特定非営利法人オアシス(OASISS:岡山大学関連外科研修情報支援機構)